



# 在家中だより

No. 476 令和6年12月2日(月)

川口市立在家中中学校 川口市大字安行領在家272番地  
048(295)4102 FAX 048(295)5661  
URL <https://zaike-j-kawaguchi-saitama.edumap.jp/>



・心身ともにたくましい生徒  
・自ら進んで学ぶ生徒  
・豊かな情操を培う生徒

## 心が「声で結ばれ、歌となって響く」～合唱コンクールを終えて～

校長 鈴木 玲

正直なところ、今年度の合唱コンクールは不安もありました。これまで何度も会場として使用させていただいていた川口市総合文化センター リリアが改修工事のために使用できません。今年度の会場は、私自身も初めてお借りする越谷サンシティの大ホール。生徒の集合・待機場所やコンクールの運営・流れ、保護者席として用意した座席の数やそこが満席になった際の臨時の対応など、事前に十分な計画がされていたとはいえ、初めての会場であるために私自身、それらを具体的な画として想像することが難しかったというのが本音です。しかもコンクール当日は月曜日ですので、当日に向けた連絡や指導を行うのは前の週の金曜日になります。この「土日をはさむ」というのは生活上の指導をする上で心配が多いものです。なにより、本番を迎えるにあたってクラスが一つになり、盛り上がった生徒たちの熱い思いに「土日の2日間」という時間が水を差してしまわないか。心配されることはいくつもありました。

11月11日(月) 合唱コンクール本番を迎えました。結論から言ってしまうと、これまでの私の思いは全くの杞憂<sup>きゆう</sup>に過ぎず、開始から数分後にはむしろ「チーム在家」のもつ底力にゆったりと身を任せるほどの心地よさを感じていたほどです。

開会式を終えると、1学年から順に演奏が始まります。1年生は初めての合唱コンクールで、しかもトップバッター。緊張した表情や体の動きはホール中段の審査員席から見てもわかります。一見、強<sup>こわ</sup>ばったように見えるその動きは、実は同時に素晴らしいステージマナーでもありました。指揮者はクラス全体に目を配り、しっかりと掌握<sup>しやうあく</sup>しています。演奏者たちは指揮者一点を見つめ、体を無駄に動かす者は一人もいません。思いを込めて重ね合わせた素敵な歌声が会場を満たします。当然のように、その素晴らしいステージマナーと美しい歌声は6組、2学年、3学年……と質を高めながら伝播<sup>でんぱ</sup>していきます。学年が上がるにつれ、曲の難易度が上がっていきます。男子も女子も声質に深みと丸みが増してきます。各学年、順位を付けることが困難な程、どれも完成度の高い演奏に仕上げられていました。

この合唱コンクールを成功させたのは一人一人の歌声に他なりません。それに加えて、指揮者やピアノ伴奏者の長時間にわたる練習の苦勞、生徒会や実行委員会の事前の準備と当日の運営。見えないところでの先生方のフォローも忘れてはいけません。どれもコンクールの成功には欠くことができない大切なものです。PTAをはじめとする保護者の皆様にも様々な面でご理解とご協力をいただきました。特に保護者席についてはご不便もおかけしたかと思えます。しかしながら、当日は限られたスペースを互いに譲り合いながら鑑賞いただき、事後のアンケートでは会場の設定について多くの方が寛容<sup>かんよう</sup>に捉えてくださったことがわかりました。ありがとうございました。

全てが終わってみれば、今年度の合唱コンクールは例年以上に「ありがたさ」を感じる合唱コンクールでした。

